

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	合流式下水道改善事業				継続					
コード	80	-	23	-	03	-	00	予算事業名	合流式下水道改善事業	
担当部署	事業推進部	下水工務課		汚水整備担当		予算事業コード	会計	款	項	目

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な地盤を備えた魅力あるまち	根拠となる法令、条例等	下水道法施行令
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり	個別計画等の名称	実施計画
施策	3	公共下水道等の整備		
細施策	2	合流式下水道の改善		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	合流式下水道施設を対象に、大雨時に雨水吐室から河川に放流されている未処理下水を極力減らす。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	平成18年度から平成26年度の期間、実施設計業務委託により設計書を完成させた後、工事を発注し合流式下水道の改善を行う。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		106,734	179,001	454,030	351,310	787,610	
事業費	A	103,375	176,246	444,613	319,722	787,610	589,200
	B	22,200	22,200	22,200	22,200	22,200	14,800
総コスト(C=A+B)		125,575	198,446	466,813	341,922	809,810	604,000
正規職員(1年間の従事人数)		3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	2.00人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	34,500	63,280	181,745	103,295	301,000	255,000
その他特定財源	E	45,900	70,000	174,200	100,000	337,900	233,900
市の財政負担(=C-D-E)		45,175	65,166	110,868	138,627	170,910	115,100

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	貯留施設整備箇所数	箇所	1	1	3	2	一年間の貯留施設整備箇所数
成果	スクリーンの設置数	箇所	2	1	1	4	一年間のスクリーンの設置数
中心指標の考え方		本事業は、成果指標を中心に評価する。					
指標に基づく評価		貯留施設整備箇所数の増加により、未処理の下水の流れ出る回数が半減される。また、スクリーンの設置数が年々増加することにより、大きなゴミも減り、川がきれいなる。					

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
合流式下水道改善計画に基づき整備を進めているところであるが、財源の確保が困難である。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
合流式下水道改善率 川越市13.9%・高崎市100.0%・宇都宮市61.0%・横須賀市87.9%・前橋市9.1%・船橋市100.0%・柏市0.0%	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
公共用水域の水質汚濁が進み、公衆衛生上の問題が懸念される。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
現在の合流式下水道を改善することにより、分流式下水道並みの汚濁量をめざしているが、事業費が膨大であることから、財源の確保を図り、今後も積極的に整備を図っていきたい。	